

アスパラガス アザミウマ類注意情報

令和3年5月26日

田川普及指導センター・JA たがわ

長崎県では、アスパラガスほ場におけるアザミウマ類の発生が例年に比べ多発していることを受け、5月18日に注意報が発表されました。

JA たがわ管内においても、4月末の巡回時には、ほとんどのほ場でアザミウマ類の発生が確認されており、**今年は例年に比べ発生時期が大幅に早い傾向**にあります。



ネギアザミウマ

福岡管区气象台によると、向こう1か月の気温は平年に比べ高い見込みで、アザミウマ類の発生に好適であることから、今後さらに増殖・被害の多発が懸念されます。早期の防除を徹底しましょう。



① 若茎の被害

鱗片葉や茎表面にカスリ状の傷が生じる



② 成茎の被害

側枝や擬葉にカスリ状の傷が生じる

【対策】

○施設内および周辺の雑草は害虫の増殖源となるため除去する。特に周辺に麦ほ場がある場合は、麦刈り後の飛び込みが激しくなるため、注意しましょう。

○定期的に擬葉の叩き落としにより、発生程度を確認しましょう。

○アザミウマ類は薬剤に対する抵抗性がつきやすいため、**同一系統の薬剤を連用しないように**します（※農薬混用表「IRACコード」欄を参考ください）。

○立茎が完了しているほ場では、茎葉が繁茂し内部まで薬が届きにくくなっています。防除前には整枝し風通しを良くしておきましょう。